

欧米の幼児教育(四)

オーストリア・イタリアの幼児教育



西 本 脩

オーストリア

施設の種類

オーストリアには、公立幼稚園と私立幼稚園の異なった種類があります。ある幼稚園は半日だけ開き、ある幼稚園は両親が働いている子どものために、全日開いています。いなかには季節幼稚園があり、工業地帯には工場幼稚園があります。

子どもたちは六才になるまで、小学校へ入学を許されません。

組織・財政・管理

公立幼稚園は連邦当局(州とコミュニティ)により、私立幼

稚園は社団・教会・工場または個人によって設立され、融資されます。幼稚園を開く許可は、州当局から得なければなりません。そして、一定の条件を満たすことを必要とします。

公立はもちろん私立も、すべての幼稚園は、連邦政府の専門の婦人視学が管理しています。事情によって、財政的な援助が私立幼稚園に与えられます。

いろいろな特色

幼稚園へ通うのは、義務でなく随意です。子どもは三才になると、入園を許されます。最年少の子は必要ならば、託児所か昼間保育所に渡されます。公立幼稚園は無料であり、私立幼稚園は案内書に入園料を表示しています。

一グループ当りの、子どもの最大限の人数は四〇人ですが、実

際には三五人で、一グループの人数を三〇人に減らすかたむきがあります。

教育活動と方法

幼稚園は、自分で選んだ方法を自由に用いてもかまいません。当局が決めた教育細目は何もありません。おもに遊びによって、幼児の才能と技能を発達させようと努力します。時間や教材の使い方の基準となるような規則はありません。けれども、現職教育の課程で、教員は最良の遊戯や教材についても、最新の教育研究と心理学研究の結果によって、その仕事を組織だてる最良の方法についても、情報を提供されます。

教える言語

はじめ地方語(方言)か話しことばを使いますが、教師は子どもに、文語になるようなことばを使うことをすすめようと努めます。けれども、これを実施することは、公式の訓令で指令されてはいません。

研究の中心施設

ウィーン大学教育学研究所の児童心理学部は、幼児教育に関する諸問題(遊戯・絵本・言語教育など)を、絶えず研究しています。この部は、リンツで発行されている「われらの子ども」(Unser Kinder)という評論雑誌に、その研究成果を発表している。

ます。幼稚園教員現職教育課程の指導者がおぎなわれるのは、この部で仕事をする人びとの中からです。

経済生活・労働生活との関係

幼児教育においては、付近の住民の家庭や労働生活の要求に考慮が払われます。たとえば、両親が働いている子どものために、全日制幼稚園(食事付き)があります。いなかには、刈り入れ人夫の子どものために、五月から一〇月まで開く幼稚園があり、工業地帯には工場幼稚園があります。

家庭との協力

幼稚園教員は両親と接触し個人的相談の形式をとる接触も、教育上の問題並びに幼児教育の組織に関する問題の討論に当てられる両親の夕べの形式をとる接触も一を持つ必要があります。

医学的管理

公立幼稚園の医学的管理は、公衆衛生機関によって行なわれます。私立幼稚園は自由に医者や奉仕を得ます。

安全と輸送

おおむね幼稚園は、家庭から一〇分以上離れてはいません。そして幼児が年上の学童に付き添ってもらうことができるように、時間が決められています。ときには、幼稚園教員が子どもたちを幼稚園へ連れて行くために集める集合場所があります。いくつか

の例外的な場合に、子どもはバスか特別電車で輸送されます。

建物と設備

幼稚園を開く許可は、州当局から得なければなりません。州当局は、建物と設備について、一定の条件をさだめています。

教員の養成

幼稚園教員は三年課程の特別な学校で訓練を受けます。衰弱児（言語障害児、ろうあ児、盲児、虚弱児、教育困難児など）のための幼稚園で教えたいと思うものは、特別な試験に合格しなければなりません。

熟達証明書を持った人だけ、幼児教育にたずさわることを許されます。幼稚園教員のうちごくわずかのものは、必要な訓練を受けていません。これらの教員は競争中に雇われ、適任であることを証明してから、特例として承認され、その仕事を続けることを許されています。

前に述べたように、幼稚園教員の高級訓練のための現職教育課程があります。

教員の身分

小学校の女教員とくらべると、幼稚園教員は五年課程ではなく三年課程を取り、大学入学許可証明書ではなくて熟達証明書を手に入れます。小学校の女教師は学士号を持つものと見なされるの

に、幼稚園教員の給料水準は学士号を持たないものの水準です。

一週の勤務時間は、幼稚園教員の場合は三六時間ないし三八時間、小学校の女教師は二六時間ないし三〇時間です。

上に述べたことから、当然、幼稚園教員は小学校で教えることができないうことになり、小学校の女教師は幼稚園で働くことはできないということになります。特殊幼稚園の女教員は、ときには特殊学校の幼児学級を受け持つように求められます。このような学級は、学校教育を受けられるほど成熟段階が高くない学齡児が通います。

イ タ リ ア

施設の種類の

三才から五才の子どもを教育するために、保育学校 (Schoola Infantia) ・児童センター・幼児学校すなわち幼稚園として知られている幼児教育施設があります。

組織・財政・管理

これらの幼児教育施設は、地方行政官庁・慈善団体・あるいは個人によって設立されます。国は、教員養成学校付属の幼稚園にだけ、直接関係があります。

国は、私立の幼児教育施設に対して、その要求と財源に応じ、自由に助成金を支給します。私立の施設は、また、従業員の子どものための設備に関係している大会社から、補助金を受けま

す。
公立・私立どちらにしても、予備段階の施設はすべて、子どもの教育と訓練に関係するものと見なし、文部省の管理を受けています。全く慈善的な性質の福祉施設だけは、内務省の権限内にあります。

管理と監査は、地方の指導主事および地方の学校視学官によって行なわれています。

いろいろな特色

幼児教育はいつも、義務でなく随意です。施設へはいることを許される最低年齢は、三才です。一般に地方行政官庁が管理している学校へ通うのは、無料です。私立の施設については、ふつう、裕福な家庭の子どもは保育料を払いますが、そうでない家庭の子どもは払いません。

原則として、教員ひとり当りの子どもの人数は、最小限一五人・最大限四〇人です。

教育活動と方法

教育活動についての最近の公式指令は、一九五八年六月一日

にだされており、次のとおり要約することができます。

(イ) 宗教教育——もつとも簡単な祈りの学習。カトリック教会のおもな祝祭日と儀式にちなんで、イエス・キリストの一生の間のエピソード。

(ロ) 道徳教育と公民の資格(citizenship)を得るための教育——家族・隣人・祖国に対する愛情を発達させるような、話したり読んだりする題材の説明とともに、もつとも高い理想主義的な人間の価値にみちびく倫理的な社会生活。

(ハ) 体育——からだのつり合いのとれた発達のための体操。からだの運動を与え、できるだけ野外で行なう、自由な律動的な組織立った遊戯。衛生についての、よい健全な習慣の形成。

(ニ) 知的教育——子どもを励まし、知覚のとどく範囲にあるすべてのものについて、よく考えさせるような会話。教室・庭・軽便食堂で与えられ、子どもが物物を、数量(多い、少ない、一つ、一位の数)はもちろん、その性格や性質(大きさ、色、似たところ、違うところなど)でも区別するようになるため、子どものじかの興味に直接あてはめる、實際生活における練習。関係のある動植物の生活の観察とともに、まわりの環境を発見することなど。

(ホ) 表現の訓練——表現の自由をおすすすめ、国なまりのことばを正し、最もありふれた単語の意味を明らかにするための会話。

韻文、詩、たとえ話など。好きな色を使った自由画、これは基本的な表現手段で、子どもの情緒生活や知的生活を表わすものです。模倣による学習を含む合唱、できることなら楽器で伴奏する。宗教的・道德的・社会的・愛国的思想の発達に役だが、子どもの限られた用語による限界を越えない歌曲を選んで。

(c) 遊びと仕事——子どもの保育日は一日じゅう、遊びと仕事を適当に割り振らなければなりません。そして、各々は、子どもの性格を形成し、強くするために、また同時に、子どもの社交性のセンスや仕事の愛好心を発達させるために役だつべきです。

用いられる方法は、おもにアガッチ姉妹 (Agazzi sisters) ・フリーベル (Froebel) ・モンテッソリ (Montessori) の方法です。使う教材については、べつに行政法のものできだめられてはいませんが、採用された方法によって決まります。

読み方・書き方および算数の教授は、禁止されています。

時間割

保育時間は、その地方の住民の要求によってさまざまです。子どもたちは、だいたい午前九時から午後四時三十分まで、保育を受けています。

研究の中心施設

ブレッシア (Brescia) にある国立保育学校教育センターは、幼

児教育の諸問題を扱っています。また、法律・行政・教育・社会などの方面で、幼児教育に関係するいろいろな国立と地方の組織があります。

経済生活・労働生活との関係

たいいていの場合、特殊な地方の要求に応じて開かれた保育学校は、当然その住民の要求を考えに入れ、家庭生活の要求と働く婦人の欲求とに、特別な注意を払います。

家庭との協力

このような協力は、親と教師との間の直接の接触によってなしとげられます。それはまた、社会福祉事業家が仕事にたずさわっているところでは、その活動によって、また、国立家庭学校関係教育センターのカウンセラーがする仕事によって、特に P T A (親と教師の連合) の結成を勧めることで、うながされます。

医学的管理

医学的な援助は大規模に組織され、予防接種・治療的処置・海浜またはいなかにおけるキャンプの指定を含んでいます。保育学校では、貧しい家庭の子どもには食事は無料ですが、そうでない家庭の子どもは少額の代金を払います。学校を助けるために作られたクラブは、無料の医薬を用意し、からだが弱い子や病気にかかっている子どもに、必要な治療法を提供します。

安全と輸送

保育料を払う私立学校の大半は、子どもたちを家庭へ迎えに行き、ふたたび送りとどける準備をしています。地方自治体当局が管理している学校では、距離によって必要な場合に、このような準備をします。

建物と設備

保育学校はほとんどすべて、小学校に付属した建物の中におさまられています。学校の建物のたて方と衛生設備は、ともに規則の種類です。

教員の養成

保育学校の教員は、予備段階教育熟達証明書を持っていないければならず、この証明書は教員養成学校の三年課程を終えたのちに得られます。この課程は、次にかかげるものを含んでいます。すなわち、イタリア語とイタリア文学、歴史と地理、教育学、数学、自然科学、造型と絵画、衛生と育児、宗教、音楽と唱歌です。学生は、教員養成学校付属の実験保育クラスで、一年間の教育実習を行います。教員養成学校へ入学するためには、中学校を少なくとも七点（十点満点）の点数で卒業するか、または、志願者が三年間小学校の免許状を持たなければならぬ条件で、入学試験に合格するか、どちらかが必要です。私立の学校で仕事に

たずさわる人びとや、熟達証明書の試験を受けたい人びとは、二才になつていなければならぬし、上級中学校の卒業証明書をもち、その受け持ちの学校視学官が証明した一年間の教育実習を満足に仕上げなければなりません。

教員の身分

幼児教育施設の教員に要求される訓練は、小学校教員のものと同じではありません。小学校の教師は、教員養成大学 (Scuola Magistrale) で熟達証明書を得ます。その大学は、三年の下級課程と四年の上級課程をもっています。一方、保育学校の教員は三年の中学校に通い、それから三か年の教員養成学校 (scuola magistrale) へ通います。

保育学校の教員は、もし規則どおりの必要な資格を持っていれば、小学校教育にたずさわることもできます。

幼児教育の発展上の困難点

幼児教育の発展に関係がある、もっとも大切なさしせまつた問題は、(1) 幼児教育を義務化できるかどうかの見こみ、(2) すべての学区に保育学校をもうける必要性、(3) 教員の法律上、経済上の身分をはっきりさせること、(4) 予備段階の学校の教員を養成する学校を改革すること、(5) これらの学校の校長と視学官を養成すること、に関係をもっています。(大阪樟蔭女子大学)